

シリーズ華夷弁別連動企画 はぎあふ暮らし

Vol.
1

環境負荷低減と食の提案を

阿武町でウニの養殖事業に取り組む 福本真司さん

2年前に家族で阿武町へ移住してきた福本真司さんが、このほどウニの養殖事業を開始した。磯焼けの原因として駆除されることもあるウニだが、捕獲・畜養によって藻場保全にもつながるといふ。

大学で海洋生物学を専攻したが、前職は理学療法士。「対応できる患者さんと直接繋がれる職業だ」と感じたことで選んだ。その仕事を捨てて阿武町での半農半漁



福本真司さん
1979年兵庫県出身。東京海洋大学を卒業後、会社勤めや理学療法士を経て、2023年に阿武町へ移住。漁業や農業の傍ら、一般社団法人あぶナビの理事として観光振興にも取り組む。

生活に飛び込んだことについて、「理学療法士の仕事を通して、健康について深く考えた。自然が好きで、自給自足の生活にも憧れていた」と、屈託なく笑う。

早朝から定置網漁に従事し、午前中は海士漁、午後は畑で自然農法。「量産を否定するわけではなく、消費者に選択肢を提供したい」と、安全安心な野菜づくりを励む。

ウニの養殖では、キヤベツの外葉などの野菜クズを餌として使う。町や信金の補助金・助成金を受けながら「持続するには黒字化しなければダメだ」と目を輝かせる。

「メダ」と、見た目にアピールするため殻つきで売ったり、ウニ本来の味を生かすための工夫をしたりと付加価値をつける方法の研究に余念がない。

早くも次の夢も膨らむ。学生時代に学んだ分野でもある海藻の養殖だ。「環境負荷を低減し、伝統的で新しい食文化を提案したい。一緒に取り組む仲間も増やさねば」と目を輝かせる。

シリーズ 華夷弁別

— 若者たちの挑戦 —

華夷弁別とは中国から来た言葉で、吉田松陰は弟子たちに「その地でがんばればそこが中心となる」と教えた。番組では、萩阿武地域で活躍している人に密着取材。

放送時間：月曜～日曜 午後7時～ほか

花火大会へ行こう！

■秋日本海大花火大会

▽8月1日(金)

午後8時～

▽萩商港萩市菊ヶ浜周辺

日本海を望む美しいロケーションで、色とりどりの花火が夜空を彩る。まわりに障害物のない海岸線から見る花火は迫力。

問：萩商工会議所

☎08388253333

■なご夏まつり花火大会

▽7月26日(土)

午後8時～(予定)

▽奈古漁港周辺

約2000発の大輪の花火が間近で楽しめる。奈古鹿島湾では航海の安全と豊漁を祈願するための海上御神幸が、住吉神社では神子舞も行われる。

問：阿武町役場まちづくり推進課

☎0838823111

■須佐湾大花火大会

▽7月28日(月)

午後8時～(ステイ)

ジイベント午後4時～

▽須佐漁港

三方を山々に囲まれた須佐湾内に響く

花火の音は迫力満

点。お祭りでは、石見

神楽やスペシャルゲス

トきただにひろしさ

ん、石田耀子さんのラ

イブも。

問：須佐夏祭り実行

委員会

☎0838762219

はあびジョンでは、以

上3つの花火大会をコ

ミチヤン(121ch)

で生中継。

■関門海峡花火大会

▽8月13日(水)

午後7時20分～

▽下関市あるかぼー

と地区ほか

関門海峡の美しい

夜景を舞台に、下関

と門司の両岸から計

1万5000発の華

麗な花火が打ち上げ

られる。

問：(二財)下関21世

紀協会

☎0832232001

■岩国港みなと祭花火大会

▽7月19日(土)

午後8時～

▽岩国港ポートビル前

2尺玉、1尺玉、港

と海を照らす土筒の

花火、ミュージックスタ

ーメイン、メロデイ花火

などバラエティに富ん

だ花火の乱舞が楽し

める。

問：岩国港みなと祭

花火大会実行委員会

☎08272331055

■菊川夏まつり花火大会

▽7月26日(土)

午後8時～

▽菊川ふれあい会館

ひろば周辺

会場近くで打ち上

げられる約2000

発の花火は迫力満

点。盆地ならではの

音の響きがダイナミ

ック。

問：菊川町観光協会

☎08322871115

※掲載情報は予定で

す。くわしくは主催者

にご確認ください。